

### 第3学年 国語科学習指導案

#### 単元名：本の帯を作って、お気に入りの本を紹介しよう 「サーカスのライオン」

指導者 呉市立豊島小学校  
花田 由香

- 1 日時 平成25年10月24日（木）公開授業1（9：55～10：40）
- 2 場所 呉市立豊島小学校 2階 第3学年教室
- 3 学年 第3学年（男子2名 女子2名 計4名）
- 4 単元について

本単元は、小学校学習指導要領・国語第3学年の内容「C 読むこと」指導事項ウ「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基にして想像して読むこと。」、オ「文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。」を受けて設定されている。

2年生の「名前を見てちょうだい」では、場面に注意して人物の様子や気持ちを読み取る学習を行い、3年生1学期の「ゆうすげ村の小さな旅館」では、場面の移り変わりに注意して読み、あらすじをまとめる学習を行っている。

それを受けて、「サーカスのライオン」では、場面の移り変わりに注意して、物語の中心となる人物の気持ちの変化について、叙述を基に読み取る力をつけることをねらいとする。

本教材は、やる気をなくしていた「じんぎ」が男の子とのふれあいを通して、意欲をとりもどしていく物語である。5つの場面で構成され、時や場所、人物が具体的に書かれ、場面の移り変わりが分かりやすく描かれている。比喻表現や擬態語、倒置法などが巧みに用いられており、叙述を基に中心人物の気持ちがどのように変化したかを読み取ることができる教材である。そして、自分の考えを叙述を基に交流することで、一人一人の感じ方に違いがあることを知り、多様な読みがあることに気付くことができる。と考える。

さらに、この学習は4年「走れ」での、中心となる人物に着目し、物語全体を通した変容を読み取る学習、「ごんぎつね」での、場面の移り変わりに注意して、人物の気持ちの変化をとらえる学習へとつながっていく。

#### 5 調査結果等から見る課題

##### 〈誤答分析と課題となる力〉

平成25年度「基礎・基本」定着状況調査の結果より、本校の通過率は、「叙述を基にした想像」に関する「読むこと」の領域問題について、広島県の平均74.2%に達していない。また、平成25年度全国学力・学習状況調査の「2つの文章を読み比べて理由や違いを捉える」というねらいの問題で、適切なものを選択する、理由を書くという問題の通過率は広島県平均50.5%、本校28.6%であった。

誤答の原因として、登場人物の行動、会話、情景描写等、根拠となる叙述を基に登場人物の気持ちを想像することが身に付いていないことが挙げられる。

また、既習の物語文のプレテストを行い、本学級の児童の実態を把握した結果、登場人物の気持ちが表れている、行動、会話、様子などの表現を抜き出すことができていなかった。

また、授業では読み取ったことについて、自分の考えをもち、表現することが苦手な児童が多い。

##### →課題となる力

- ・ 登場人物の性格、気持ちを、叙述を基にして想像して読み取る力
- ・ 読み取ったことに対して、自分の考えを表現する力

##### 〈指導上の課題〉

- ・ 文学的な文章において、根拠となる叙述を基に気持ちを想像させる指導が十分ではない。
- ・ 登場人物の気持ちについて、自分の考えと根拠をまとめ交流させることの指導が十分ではない。

## 6 指導改善のポイント

### (1) 単元を貫く言語活動とその特徴

単元を貫く言語活動として、並行読書を進めるための読書環境を整え、「本の帯を作って、お気に入りの本を紹介しよう。」という活動を設定する。(言語活動エ「紹介したい本を取り上げて説明すること。’)本の帯には、お気に入りの本の登場人物の気持ちの変化とその理由、感想を書くようにする。教材文でも同様にして本の帯を作らせ、その方法を学ばせる。

これにより、児童は目的意識をもって学習に臨み、場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化について、叙述を基に想像して読み取り、ねらいを達成できると考える。

### (2) 指導内容、指導方法について

文学的な文章において中心人物の気持ちの移り変わりを、叙述を基に出来事の流れに沿って読み取るために、次のようなステップで指導をする。

- ・ 中心人物の気持ち、いつ・どこで・どのように変化したのか、行動や心情を叙述に即して、場面ごとに出来事を整理し読み取らせる。気持ちの変化を考えさせるための手立てとして、心情曲線を用いる。
- ・ 登場人物の性格や気持ちが分かる場所に線を引き、本文の叙述を基に、人物像や場面の移り変わりや変化する気持ちをとらえさせる。
- ・ 「サーカスのライオン」で学んだことを活かして、並行読書で読んだお気に入りの本について、叙述を基に中心人物の変容とその理由をまとめさせ、本の帯に表す場を設定し、友達と交流させる。

### (3) 研究主題との関わり

本年度の本中学校校区の研究主題「主体的に学び、表現できる児童生徒の育成～言語活動の充実を通して～」を受け、主語・述語や順序、根拠を意識しながら、話すこと、聞くことを定着させ、表現力を高めていきたいと考えている。

前期においては、理由を挙げて順序良く結論先行型で話し、比べながら聞き合うことを目指している。

本単元では、叙述に基づき理由を明確にして、互いの読みを交流させることで、目指す力を付けていきたい。

## 7 単元の目標・評価規準

- 物語に興味をもち、人物の気持ちの変化を考えながら読もうとする。  
【国語への関心・意欲・態度】
- 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化について、叙述を基に想像して読むことができる。  
【読むこと ウ】
- 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができる。  
【読むこと オ】
- 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。

### 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (1) イ (ア)】

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○ 物語に興味をもち、人物の気持ちの変化を考えながら読もうとしている。	○ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化について行動や会話、情景描写等の叙述を基に想像して読んでいる。(ウ) ○ 文章を読んで考えたことを、本の帯を通して紹介し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付いている。(オ)	○ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 (1) イ (ア)

## 8 指導と評価の計画

(全11時間)

次	学習内容(時数)	評価				
		関	読	言	評価規準	評価方法
一	全文を通読し、中心人物の気持ちの変化に寄り添い、好きな一文に線を引き初発の感想を交流する。 「お気に入りの本の帯を作り、紹介する」ために、並行読書を知ることを知る。(1)	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>教材文に興味をもち、じんざの気持ちの変化に気を付けて読もうとしている。</li> <li>「お気に入りの本の帯を作り、友だちに紹介する」という相手や目的意識をもっている。</li> </ul>	観察 ワークシート 発表
	分からない言葉の意味を調べ、大切な言葉をおさえる。 場面を分け、小見出しを付け、物語の全体をとらえる。(2)			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>分からない言葉を辞書で引いて調べている。</li> <li>各場面の出来事を手がかりに小見出しを書き、物語全体の文章構成をつかんでいる。</li> </ul>	
二	登場人物の人物像をとらえる。(1)		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>叙述から登場人物の人物像を読み取っている。</li> </ul>	発表 ワークシート
	一場面のじんざの気持ちを考える。(1)		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>様子や行動などから、じんざの気持ちを考えながら読み取っている。</li> </ul>	発表 ワークシート
	二場面のじんざの気持ちの変化を考える。(1)		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>男の子と出会った場面のじんざの気持ちの変化を、叙述を基に想像し、読み取っている。</li> </ul>	発表 ワークシート
	三場面の中心人物の気持ちの変化を考える。 <b>【本時1】</b>		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>男の子がたずねてくる場面のじんざの気持ちの変化を、叙述を基に想像し、読み取っている。</li> </ul>	発表 ワークシート
	四場面のじんざの気持ちの変化を考える。(1)  五場面のじんざの気持ちを考える。(1)		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>火事に立ち向かうじんざの気持ちを、叙述を基に想像し、読み取ることができる。</li> <li>叙述を基に、一生懸命手をたたいたお客さんの気持ちとじんざの気持ちをとらえている。</li> </ul>	発表 ワークシート
三	「サーカスのライオン」を紹介する本の帯を作る。(1)		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>じんざの気持ちが変わった場面、一番心に残ったところを選び、じんざの気持ちの変化とその理由をまとめた「サーカスのライオン」の本の帯を作っている。</li> </ul>	作品
	並行読書してきた本の中から、紹介する本の帯を作り交流し合う。(2)		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>物語のとらえ方や感想について、一人一人の感じ方の違いがあることに気づき、自分の考えを深めている。</li> </ul>	作品 発表

9 本時の学習

(1) 本時の目標

- 男の子がたずねてくる場面のじんざの気持ちの変化を、叙述を基に想像して読むことができる。

(2) 本時の学習展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断される児童への手立て	評価規準 (評価方法)
つかむ	1 漢字テストをする。 2 前時までの学習を振り返る。 3 本時のめあてを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の音読の成果を共有するとともに、「国語のあしあと」で、第二場面までのじんざの気持ちを振り返らせる。</li> </ul>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     じんざの気持ちはどのように変わったのだろう。                 </div> 4 学習場面を音読する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>三場面の一斉読み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 音読の時に、中心人物の顔を心情曲線に貼ることを伝え、音読させる。</li> <li>◇ 根拠となった中心人物の気持ちが表れている叙述を見つけたり、気持ちを想像したりしながら読むよう、音読の視点を示す。</li> </ul>	
考える	5 じんざの気持ちについて自分の考えをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ じんざの顔を、じんざの気持ちの変化を考ながら心情曲線に置かせる。</li> <li>◇ 心情曲線を置いた位置の根拠になる部分を本文から見つけ線を引かせ、どんな気持ちなのか、付箋に書いたり、教科書に書き込みをさせたりする。</li> <li>◆ じんざの気持ちを見つけにくい児童には、挿絵から考えるよう声をかけたり、理由を尋ねたりして助言する。</li> </ul>	
広げる・深める	6 自分の考えを伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ どの部分にじんざの気持ちが表れているのか、また、それは、どんな気持ちなのか、以前のじんざの気持ちと比べて発言させる。</li> <li>◇ 根拠となる部分から、じんざの気持ちを想像し、発表させる。</li> <li>◇ 読み取ったじんざの気持ちを、言い表しにくい児童には、教師が助言や補助発問をしたり、他の児童にどう思うかを発表させたりし、読み取りを深めさせる。</li> <li>◆ 動作化を取り入れて、気持ちが読み取りやすいようにする。</li> <li>◆ じんざの気持ちや変化を見つけにくい児童には、心情曲線を手がかりにさせる。</li> </ul>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>言語活動の充実</b> </div>	<div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <b>児童の説明例</b>                      ○ 前は、たいくつで1日中ねむっていたじんざが、「じんざは、もうねむらないでまっていた。」というところから、男の子が大好きなんだと思いました。わけは、男の子が来るのが楽しみだから起きて毎日待つということだから、男の子が大好きなんだと思うからです。                      ○ サーカスの仕事で三本の火の輪をくぐりぬけていたじんざが、「火の輪を五つにしてくぐりぬけてやろう。」と、体や目に力が入ったところから、やる気満々でがんばろうという気持ちになっているということが分かりました。それは、男の子が見に来てくれるので、男の子にすごいところを見せてやるぞと思ったからだと思います。                 </div>	

まとめ	7 本時のまとめを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 友だちと交流し合い深まった考えをまとめるよう指示をする。</li> <li>◇ 三場面の気持ちの変化を考えながら、じんごの顔を心情曲線に貼る。</li> <li>◇ じんごの気持ちの変化と自分の考えやその理由をまとめてワークシートに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ じんごの行動、会話などの叙述を基に、じんごの気持ちの変化を読み取っている。([読]発表, ワークシート)</li> </ul>
<p><b>児童のまとめ例</b></p> <p>前は目が白くにごっていたじんごが「目がぴかっと光った。」というところから、若いころのようにやる気になっていると思いました。それは、男の子が大すきだから、かっこいいところを見せたかったからだと思います。</p>			
8 本時を振り返り、次時につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本の帯を作ることを念頭に入れ、次時は四場面の読み取りをすることを知らせる。</li> <li>・ 四場面の音読と、漢字の家庭学習をすることを伝える。</li> <li>・ 次時の漢字テストの予告をする。</li> </ul>		

**10 板書計画**

サーカスのライオン

10 / 24 (木)

めあて

じんごの気もちはどのように変わったのだろうか。

○たいくつだなあ。 ○やる気がおこらないなあ。

○つまらないなあ。

- ・ 目を細くして受け取った。
- ・ じんごはうれしかったのだ。
- ・ じんごは、もうねむらないでまっていた。
- ・ じんごは乗り出して、うなずいて聞いていた。
- ・ じんごは乗り出して、うなずいて聞いていた。
- ・ じんごの体に力がこもった。目がぴかっと光った。

「…ようし、あした、わしはわかいときのように、火の輪を五つにくぐりぬけてやろう。」

じんごの顔

川村 たかし

西村 達馬

絵 文

まとめ

○よし、若いときのようにがんばるぞ。

○すごいところを男の子にみせてやるぞ。

じんごの顔

じんごの顔